

XバンドM Eドップラーモジュール

型名 : NJR4178J

(タイプ A5 - 6) 中心周波数 10.525GHz

< オプション >

(タイプ A1 - 2) 中心周波数 10.505GHz

(タイプ A3 - 4) 中心周波数 10.515GHz

(タイプ A7 - 8) 中心周波数 10.535GHz

(タイプ A9 - 10) 中心周波数 10.545GHz

仕様書

第 10版 2004年 11月 29日

Copyright © 2004

New Japan Radio Co., Ltd.

Microwave Components Division

-Notice of Proprietary Information-

This documents and its contents are proprietary to New Japan Radio Co., Ltd.
This publication and its contents may not be reproduced or distributed for any
other purpose without the written permission of New Japan Radio Co., Ltd.



< 本製品の使用に係る注意事項 >

- 1 .
同一エリア内で複数のモジュールをご使用になる際には、混信防止を考慮し、中心周波数の異なる合計 2 種類の製品を用意しておりますので併せてご利用ください。
- 2 .
本製品を取り扱う際には、測定系や人体のア - スをとるなど、必ず静電気対策の御配慮をお願い致します。また、端子への半田づけの際には半田ごての長時間利用はご遠慮ください。（リフロー炉の使用は不可）
- 3 .
外形に強いストレスを加えますと、局部発振周波数に影響を与えますので御注意下さい。また、定格以上の衝撃は加えないように取扱い願います。
- 4 .
以下の行為は本製品の申請時の条件と異なり、電波法令違反となり、厳しい罰則（罰金・懲役等）の適用を受けることとなりますので絶対におやめください。

本製品の筐体を開封し、改造すること。

本製品の電源電圧 直流 + 5 . 0 V ± 0 . 2 V、無変調以外で使用すること。

本製品の当社が指定する以外の空中線を使用すること。

その他、電波法及び関連法に基づく変更の工事を行うこと。

本製品を当社の申請時と異なる運用を行う場合、別途お客様のシステムで技術基準適合証明の申請を行って頂きますようお願いいたします。なお、本製品の表示類は技術基準適合証明した旨を示すものです。当該行為があった場合は電波法の定めるところにより除去しなければなりません。それ以外の時には絶対に除去しないでください。

電波法及び関連法を守って正しくご使用ください。

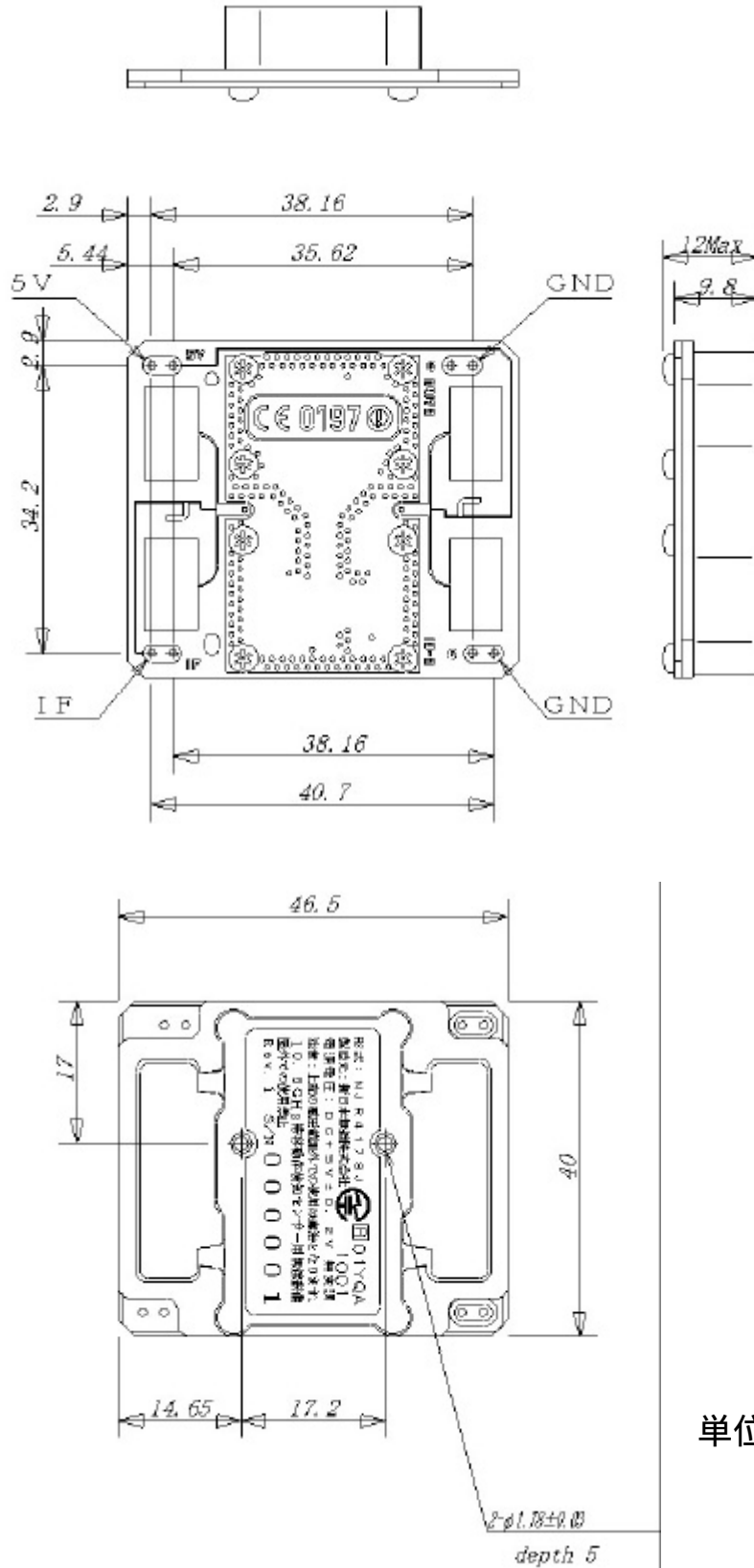
本製品は、極めて高い信頼性が要求される用途（生命維持装置、航空宇宙機器、物的損害を及ぼす用途、生命・身体に損害を及ぼす用途）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。これらの用途へのご使用をお考えの際には、事前に当社営業担当窓口までご相談いただきますようお願いいたします。

当社は高品質・高信頼性の製品を供給することに努めておりますが、ある確率で故障が生じてしまうことがあります。当社製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害を生じさせないような、冗長設計、延焼対策設計、保護回路、誤動作防止回路などの安全設計をお願いいたします。

本製品は必ず本仕様書に記載されている仕様、条件の範囲内で御使用願います。本仕様書に記載されている仕様、条件の範囲外で御使用になられた結果、人身事故、災害事故、社会的な損害等を生じた場合、当社は一切その責任を負いません。

品 目 国内向けXバンド MICドップラーモジュール (屋内用)		型 名 NJR4178J					
概 要 本製品は国内移動体鉄口センサーとして使用することを目的としたXバンドマイクロ波MICドップラーモジュールです。屋内のみの限定使用となりますが、侵入警戒、FA等の用途に適しています。							
性能仕様 1. 電気的特性 (共通測定条件 Ta=+25 , Vop=+5V+/-0.2V)							
項 目		記号	規 格			単 位	備 考
			Min.	typ.	max.		
1.1 電源電圧		Vop	+4.8	+5.0	+5.2	V	
1.2 消費電流		Iop	-	30	-	mA	
1.3 発信周波数	タイプ A5-6	fo	10.520	10.525	10.530	GHz	Ta=-30~+55°C タイプ A5-6は標準品 他の周波数オプションもあります。(別表参照)
1.4 周波数安定度		fo	-5	-	+5	MHz	Ta=-30~+55°C
1.5 発振出力		-	3.5	7~11	16.5	mW	E.I.R.P 但し+5V+/-0.2Vにおける 発振出力値に対し、最大 定格電圧範囲にて±50% に入っていること。
1.6 2次高調波		-	-	-	2.5	μW	
1.7 リターンロス		R.L.	-	-90	-	dBc	
1.8 半値幅 (-3dB)	E-Plane	-	-	36	-	度	
	H-Plane	-	-	72	-	度	
2. 最大定格							
2.1 電源電圧			+4	-	+6.5	V	DC
2.2 動作温度範囲			-30	-	+55	°C	
2.3 保存温度範囲			-40	-	+80	°C	
2.4 相対湿度			-	-	95	%	Ta=+35°C
2.5 振動			-	-	98.07	m/s ²	30~50Hz, X.Y.Z方向 各10分 (10G)
2.6 衝撃			-	-	196.13	m/s ²	10msパルス X.Y.Z方向 各3回 (20G)
新日本無線株式会社 マイクロ波コンポーネント事業部		仕様書番号 CMSE-R4178J(1)-1					

外形図




単位: mm

新日本無線株式会社
マイクロ波コンポーネント事業部

仕様書番号
CMSF-R4178J-1

ラベル

形式：NJR4178J  R01YQA
製造元：新日本無線株式会社 1001
電源電圧：DC + 5 V ± 0.2 V 無変調
注意：上記の電圧範囲外での使用は違法となります。
10.5 GHz 帯移動体検知センサー用無線設備
屋外での使用禁止
Rev. 1 S/N 000001

型番一覧

同一エリア内で複数のモジュールをご使用の際には、周波数範囲の異なる4つのオプション製品との組み合わせによるご使用をお勧めいたします。

当社型番	グループ表示	使用周波数範囲
NJR4178JA12	タイプ A 1 - 2	10.500 ~ 10.510 GHz
NJR4178JA34	タイプ A 3 - 4	10.510 ~ 10.520 GHz
NJR4178J	タイプ A 5 - 6	10.520 ~ 10.530 GHz
NJR4178JA78	タイプ A 7 - 8	10.530 ~ 10.540 GHz
NJR4178JA90	タイプ A 9 - 10	10.540 ~ 10.550 GHz

タイプ A 5 - 6 以外がオプションとなりますので、別途ご相談頂きますようお願い致します。

新日本無線株式会社
マイクロ波コンポーネント事業部

仕様書番号
CMSL-R4178J-1